

鎮西戦争略記 第九号

さて四月廿日御船を目的  
 午前八時、用戦川路君の千の  
 御船の背後を押し山田君の千の  
 正面並斜面を押し高橋君の千の  
 同所右側を押し三千に合して  
 進撃せり賊ハ胸壁を  
 堅く志暫時抗戦終不壘  
 を棄て大敗又死体を捨て  
 逃走官軍勢ひ乘し攻撃手前  
 九時九時半御船を兼取り分捕多  
 賊兵ハ頗多し惣兵廿五小隊ふて堅  
 守せり又川路山田兩君の千ハ午十  
 時飯田山を取トカマヲ占木山  
 背後を襲撃せり又野津三浦  
 兩君の千ハ廿一日の午後より  
 木山小追撃し夜入て終不  
 おとし賊ハや城に走る  
 又熊本鎮臺比千ハ同日  
 夕方より竹宮を  
 攻撃し翌朝まで  
 奮戦終小賊ハ  
 竹宮を捨て  
 走る



扱又賊徒ハ  
 鹿兒島まで  
 勢を募り  
 人吉通りへ  
 標出し来る  
 としへり  
 跡ハ早ヲ  
 カヘテ  
 田中安清良叔  
 竹宮

西御盛の  
 徒御波取

鎮西戦争略記9号 文庫10-8329

